

<我が家の「その他紙」回収チャレンジ>

夏休みの課題として、我が子二人が「小学校雑紙(その他紙)回収チャレンジ説明書」と「雑紙(その他紙)専用回収袋」を小学校からもらって来ました。

我が子たちの小学校では、課題としての提出義務はなく、取り組みは任意だったのですが、せっかくの機会なので、親子で取り組んでみました。

興味を示したのは、下の子(小学校三年生の男の子)で、夏休みが終わり12月になった今でも、取り組んでくれています。

息子は、お菓子の箱、トイレトペーパーの芯などを見つける度に、「リサイクル〜！」と言いながら、うれしそうな表情で、その他紙用の紙袋に入れてくれます。お姉ちゃんやその友達が食べたお菓子の空き箱も、つぶしてその袋に入れてくれます。

その紙袋がひとつ、一杯になるたびに、重さを量っています。息子のほうから、「おかあさん、袋いっぱいだよ〜。」と言われ、計量する時もしばしば。算数が好きな息子なので、重さを量ることで、達成感を感じて、継続できるのかもしれませんが。

雑紙の重さは、「小学生雑紙(その他紙)回収チャレンジ説明書」の上に付箋を貼り、計量結果を書き出して、目に見えるところ(壁につるした、学校のお手紙ボード)に貼り出しています。

付箋の内容は以下の通りです。



計量日	重さ (kg)
7月25日	0.94
8月25日	1.4
9月15日	1.0
10月14日	1.4
11月1日	0.8
12月3日	1.0

最近、可燃ごみの袋が45L から30L で十分になったと、60代の母は言っていました。我が家でも少しずつではありますが、ごみの減量ができているのかもしれませんが。息子が今回の取り組みをきっかけに、ごみの分別をお手伝いしてくれるようになり、とても助かっています。良い機会を与えていただいたことに感謝しています。

今後は、主人や娘も積極的にごみの分別に協力してくれることを願いつつ、我が家の取り組みを続けていこうと思います。